

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名: 仙台市 建設局

事業の名称: 仙塩広域都市計画道路事業

実施都市名: 仙台市

事業目

都市計画道路北四番丁大衡線は、仙台市青葉区木町通の国道48号を起点とし、仙台市泉区、黒川郡大和町を経て大衡村の国道4号に至る総延長23,810m、幅員24～44mの主要幹線道路であり、仙台市の骨格をなす3環状12放射状線の1放射道路として計画された路線で、市民の生活面はもとより、産業・経済面からも大きな期待をよせられている都市計画道路ある。

北四番丁大衡線の整備により、東部に位置している日交通量が3万台を超える主要地方道仙台泉線のバイパス的役割となり、円滑な都市内交通の確保に寄与するものである。

事業概要

事業名：仙塩広域都市計画道路事業

路線名：北四番丁大衡線（星陵工区）

事業箇所：宮城県仙台市青葉区星陵町・木町通二丁目

事業延長：282m

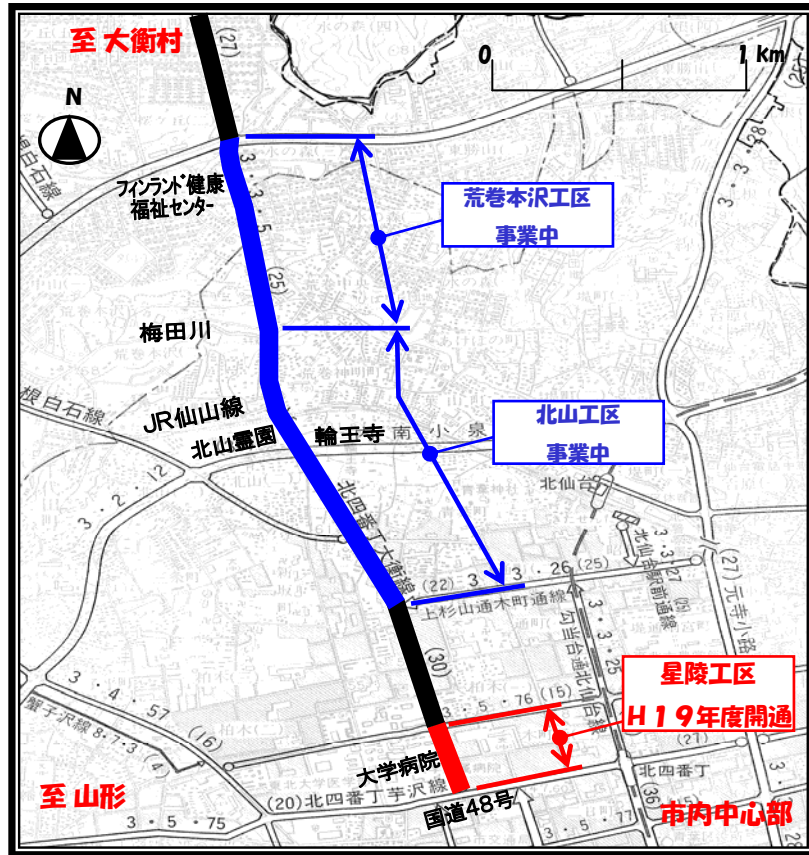
幅員：30m（4車線）

総事業費：約28億円

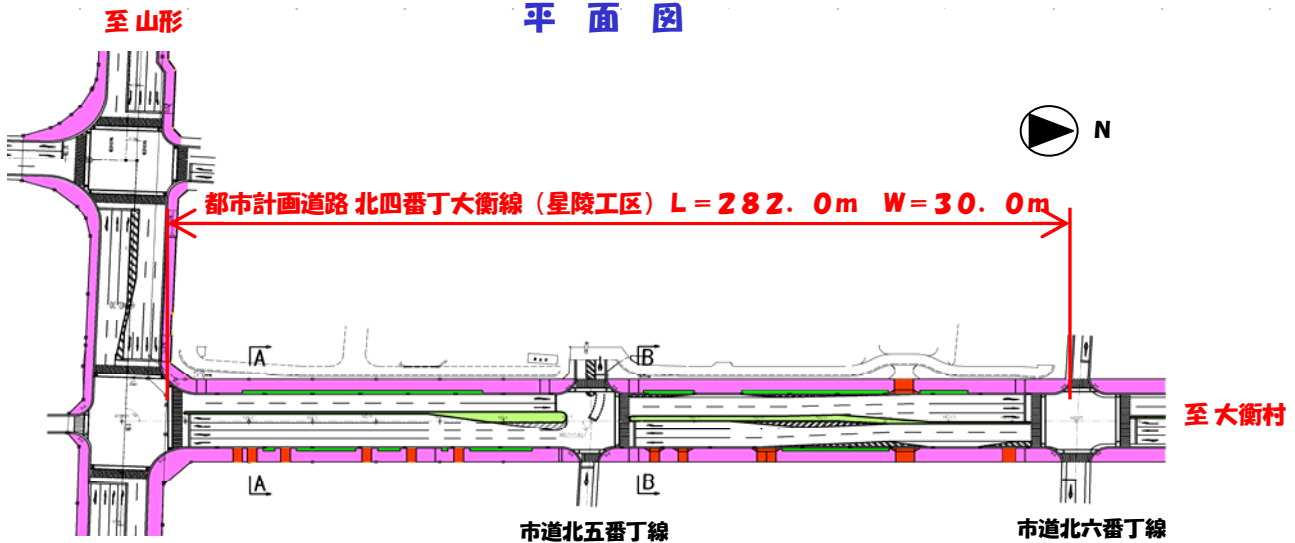
事業期間：平成10年～平成19年

本事業地は、沿道には東北大学医学部附属病院等の公共施設連坦しているが、歩道は狭く片側だけであったため、歩行者や自転車の通行に支障をきたしていた。また、バス路線にもなっているが、国道48号交差点付近では慢性的な渋滞が生じているため、バスの定時運行の障害になっていた。このため、車道を4車線に拡幅したほか、電線類の地中化を行いバリアフリーな歩道空間を確保し、歩行者の安全確保及び交通の円滑化を図ったものである。

事業位置図

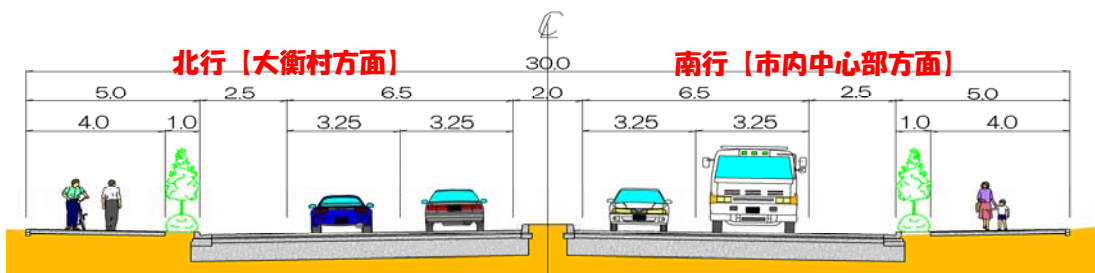


平面図



国道48号
至市内中心部

標準横断面図



北四番丁大衡線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 仙塩広域都市計画道路事業
 路線名: 北四番丁大衡線(星陵工区)
 事業箇所: 青葉区木町通二丁目
 事業延長: 0.3km
 幅員: 30m(4車線)
 総事業費: 約28億円
 事業期間: H10~H19年度

○交通量調査結果

供用前 平成17年10月12日(水)実測
 供用後 平成20年 9月18日(木)実測

・自動車交通量の推移(／12h)

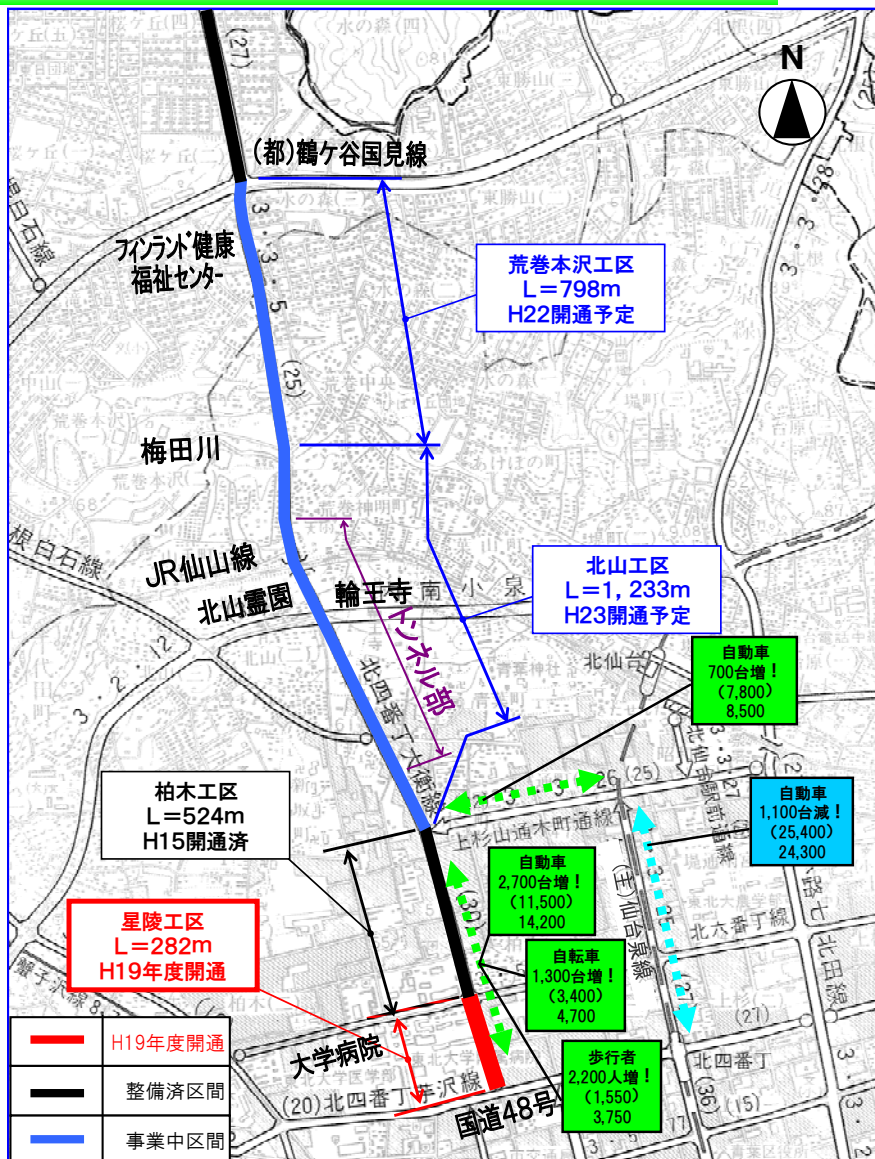
(都)北四番丁大衡線
 11,500台→14,200台(2,700台増)
 (市)上杉山通木町通線
 7,800台→8,500台(700台増)
 (主)仙台泉線
 25,400台→24,300台(1,100台減)

★(主)仙台泉線の交通量4%減少

・自転車・歩行者交通量の推移(／12h)

(都)北四番丁大衡線
 自転車3,400台→4,700台(1,300台増)
 歩行者1,550人→3,750人(2,200人増)

★自転車歩行者道が整備され、交通量が大幅に増大した！



「整備効果」

○旅行速度の向上

北四番丁大衡線(星陵工区)
 上り 7.0km/h→14.9km/h

○所要時間の短縮

北四番丁大衡線(星陵工区)
 上り 2分39秒→1分15秒

★0.3km区間で1分以上短縮

○自転車歩行者道を整備し、視覚的分離することにより、歩行者と自転車の安全に寄与した。

「その他の事業効果」

○電線類地中化整備により、防災性及び都市景観の向上に寄与した。

事業前



事業後



事業後



事業前写真

平成17年3月撮影

至 大衡村



←山形・作並方面

市内中心部方面→

平成13年3月撮影



平成13年3月撮影



事業後写真

平成20年4月撮影



平成21年2月撮影



平成21年2月撮影

